

モニタリング結果報告書 (平成27年度)

1. 施設概要

施設名	地球市民かながわプラザ		
所在地	横浜市栄区小菅ケ谷一丁目2番1号		
サイトURL	http://www.earthplaza.jp/		
根拠条例	神奈川県立地球市民かながわプラザ条例		
設置目的(設置時期)	子供の豊かな感性をはぐくむとともに、県民の国際的理解並びに国際平和及び地球的規模の課題への認識を深めることにより地域から行動する意識を高め、併せて国際交流活動及び国際協力活動を支援するための施設。(条例施行日：平成10年1月1日) (開館日：平成10年2月1日)		
指定管理者名	(公社)青年海外協力協会・(株)金港美装		
指定期間	平成23年4月1日～平成28年3月31日	施設所管課	国際課

2. 総合的な評価

総合的な評価の理由と今後の対応	
<p>提案に基づいて、展示学習事業・展示企画事業などの学習センター事業、ライブラリー事業・外国籍県民支援事業などの情報・相談事業、NPO等活動支援事業などのサポート・ネットワーク事業のプラザの3つの事業を適切に実施し、過去最高の403,392名の利用者数を記録した。また、施設の維持管理についても適切に行い、利用者から施設全体の印象では高い評価を得ている。平成27年度は当該指定管理者による5年間の指定管理期間の最後の年度であり、これまでの施設の管理運営の積み重ねの成果が表れたと認識している。平成28年度からの指定管理者にも好調な利用状況を維持することを求めたい。</p>	
<p><各項目の詳細説明></p> <p>◆管理運営等の状況 提案に基づいて、学習センター事業などプラザの3つの事業実施に努め、過去最高の利用者数403,392名を記録する実績をあげた。維持管理業務も適切に実施しており、施設の全体的な印象について施設利用者から高い評価を得ている。</p> <p>◆利用状況 子どもから大人までを対象にした事業の企画やホームページ・チラシ等による広報活動に積極的に取り組んだ結果、利用者数が目標達成率104.8%となり、A評価となった。前年度対比では5.8%のプラスとなっており、利用状況は好調である。</p> <p>◆利用者の満足度 11月に利用者満足度調査(詳細アンケート)を実施し、上位2段階の回答割合が95.2%となったためS評価となった。アンケートの実施については、受付や事業参加者への配布、利用者への声掛けによる配布を行っているが、回答数が481件と利用者数に比べ少ないため、平成28年度からの指定管理者には、アンケートの実施に際し、より多くの利用者から回答してもらいたい。</p> <p>◆収支状況 好調な利用者数を理由として30,931千円の利用料金収入があった(前年対比104.1%)。節電等省エネや経費節減にも努めており、当初予算比で光熱水費△4,130千円、その他(通信費・消耗品費等)△2,492千円となっている。収支差額が13,667千円のプラス(収支比104.7%)となったためA評価となった。</p> <p>◆苦情・要望等 ラウンジのゴミの始末の注意喚起を求める要望に対し、すぐに張り紙を増やし、また巡回指導などの対策を講じた。また、冷房が寒いという要望に対し、利用者の声に応じて柔軟に温度調整して対応することとした。要望への迅速な対応を図り、サービス向上につなげた。</p> <p>◆事故・不祥事等 孫を連れた利用者が転倒しそうになった孫をかばって転倒し怪我をする等の事故があった。事故発生に際し、応急措置を講じたり、救急車を手配したりするなど適切に対応し、県への第1報も迅速に行っている。一義的には指定管理者に責任がある事故は起きていないが、館内張り紙や巡回等での注意喚起などに取り組んでいる。また、怪我をした者への保険の説明も丁寧に行っている。</p> <p>◆労働環境の確保に係る取組状況 県による監査、労働基準監督署からの指摘事項はない。</p> <p>◆その他 平成27年度の3項目評価についてはA評価とした。平成28年度からの指定管理者についても、施設の適切な維持運営に努めてもらいたい。</p>	
3項目評価	<p>S：極めて良好 A：良好 B：一部改善が必要 C：抜本的な改善が必要 ※3項目評価とは、3つの項目(利用状況、利用者の満足度、収支状況)の評価結果をもとに行う評価をいう</p>
A	

3. 月例・随時モニタリング実施状況の確認

月例業務報告 確認	遅滞・特記事項があった月	特記事項または遅滞があった場合はその理由
	なし	—
現場確認	実施日	特記すべき事項があった場合はその内容
	平成28年5月27日 及び原則毎月第2木曜日	—
随時モニタリングにおける指 導・改善勧告等の有無	有・ <input type="checkbox"/> 無	指導・改善勧告等の内容
		—

4. 管理運営等の状況

[指定管理業務]

事業計画の提案内容	実施状況等	実施状況に関わるコメント
<p>(1) 学習センター事業</p> <p>A 展示学習事業 子どもから大人まで幅広い年齢層にプラザの理念や趣旨を魅力的に伝え、家族連れや友達同士で楽しく学べる充実したプログラムを提供。週末の利用人数が多い時間帯に、世界の遊び、言葉、衣装といったテーマのプログラムをプラザ職員と展示運営ボランティアによって実施。ファンタジー展示室では、地球市民意識の基礎となる豊かな感性を育てるために、幼児を対象に合唱や音楽に合わせた体操、絵本の読み聞かせ等を行う。</p>	<p>事業計画に沿って、週1回以上、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やってみよう世界の遊び、夏休み子ども平和学習（アニメ＋語り部ツアー）等の展示学習プログラム計58回、 ・地球市民意識の基礎となる豊かな感性を育てるため、未就学園児を対象にわらべ歌やリズム遊び、絵本の読み聞かせ、工作プログラム等のファンタジープログラム36回を実施した。 	<p>プラザの平成27年度の施設利用者数は403,392名と開館以来最高を記録した。これは指定管理者が子どもから大人までを対象によく事業を企画し、施設の管理運営を適切に行ったことの積み重ねによるものであると受け止めている。（以下の欄について同じ）</p>
<p>B 展示企画事業 世界の伝統文化、環境、平和、地球規模の課題などに焦点を当て、楽しく学び、豊かな感性を育む企画展を開催する。</p>	<p>年間を通じて8テーマ、延べ233日間(21,910名参加)の展示企画事業を実施。 子ども・親子を主な対象にした世界のバリアフリー絵本展(来場1,579名)や大人を主な対象に地球上にあふれる多様な文化や人間性を伝える野町和嘉写真展「聖地巡礼」(来場1,523名)などを実施した。</p>	
<p>C 映像ホール事業 子どものための映画会を継続的に行いつつ、更なる映像ソフトの向上を図りながら、映像ライブラリー所蔵のビデオ・DVDを活用した事業を展開。また、校外学習受入時に学習ニーズに即した作品を上映。</p>	<p>年間延べ166日上映(14,071名鑑賞)。月に1回、土曜日または日曜日の日中に、開発途上国を題材に扱った作品や、環境や貧困など地球規模の課題をテーマにした映画を上映するアースシアター、仕事帰りの社会人が参加しやすい金曜日の夜に年間5回フライデーナイトシアター、子どもたちの春夏秋冬休みのこども映画会、企画展に関連するテーマの作品の上映、校外学習受入れ時の作品上映を実施。</p>	
<p>D 交流交歓学習事業 小中から大人までを対象にした参加型ワークショップを実施する。各テーマごとに年間4～6回のシリーズで事業展開。計12回=月1程度実施。</p>	<p>交流交歓学習事業に参加する子どもたちが、地球市民の一人としての自覚に目覚めるようなワークショップ「世界の教室」「世界の文化」を実施。在住外国人をゲストに招き、参加した子どもたちが相互交流を通じて互いの「共通点」と「違い」に気づき、相対的な世界観を養える内容とした。また文化紹介プログラムとして、楽器や踊り、工作なども実施した。年間12回(892名参加)</p>	

<p>E 地球市民学習事業</p> <p>地球市民学習事業は、幅広い年齢層を対象に、世界的、社会的課題について広く周知し、地球に住む一人として、それらの解決に必要な素養を身に付けることを目指すことを目的とする。県民のより広く且つ深い課題の理解につながるよう、工夫したプログラムを年に6回実施。開催中の企画展示の内容とも関連付けをし、展示とともに講演によって、より理解を深める取組を行う。</p>	<p>世界的、社会的課題について広く周知し、地球に住む一人として、それらの解決に必要な素養を身に付けるよう、トークセッション「バリアフリー」のつくり方（「世界のバリアフリー絵本展」関連企画）、語り部から学ぶ戦争体験と平和へのメッセージ（戦後70年を迎えるにあたり、平和への思いを育む講演会）などのセミナー、講演会等を年間7回実施した(928名参加)。</p>	
<p>F ビエンナーレ国際児童画展開催</p> <p>絵画を通じて、こどもたちの夢と創造力を育み、神奈川のこどもたちに世界を、世界のこどもたちに神奈川を紹介し、国際理解と国際交流の推進を図る。平成26年度中に実施した最終審査の結果の公表と入賞者表彰を実施。また自治体や、近隣施設、国際交流機関等からの要望により18回展の作品の巡回展を実施。</p>	<p>(第18回展) ・表彰式平成27年7月4日(土) ・参加者数330名(会場プラザホール) (第18回展 展覧会) ・平成27年7月3日(金)～8月23日(日) (3階企画展示室) (第18回展 県内巡回展) 県内14市町で開催。 (作品集作成) 1冊500円(税込) (作品等貸出) 12箇所(公社)日本国際連合協会、六会幼稚園等。 (デジタルミュージアム) ・ホームページ「こどもアートミュージアム」運営</p>	
<p>G 展示運営・展示ボランティアの運営</p> <p>プラザの設立目的である「こどもの豊かな感性の育成」、「地球市民意識の醸成」、「国際活動の支援」を達成するために常設展示室を良好に保ち、入館者へのサービスをボランティア活動等により充実させる。</p>	<p>常設展示室入館者(年間66,746名)に対する展示案内をはじめ、安全管理、展示室内の展示物の整理等を通して地球市民学習の場として活用される運営を行った。 その他、戦後70年にあたり、国際平和展示室の展示内容を補完するパネル展をアンネ・フランク展「希望の未来」外2回開催した(3,705名来場)。 ・展示ボランティア登録者数57名</p>	
<p>H 校外学習の受入等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教員等からの校外学習相談への対応 ・利用前後及び利用当日の学習指導案作り ・プラザ施設を活用した体験的な国際理解教育、平和教育プログラム等の実施等 ・学習資料等の作成など受入れ促進の実施 	<p>次代を担う子どもたちに世界の多様な文化、地球的規模の課題などへの認識を深めてもらうため、幼稚園、小・中・高等学校、特別支援学校等からの校外学習の受け入れを行った。年間総計174校 7,059名</p>	

<p>I その他、提案事業 ア アウトリーチ事業 ①環境保全への理解の促進</p> <p>②国際理解教育出前講座</p> <p>イ その他、館内実施事業等 ①「あーすぷらざインフォメーションツアー」 ②「あーすキャンドルナイト」 ③世界のお化け大集合（仮題）</p>	<p>ア アウトリーチ事業 ①かながわ水源の森林づくり定着型ボランティア事業連携 松田町で森林保全・環境保全についての理解を促進するための森林体験プログラム等を実施。 ・平成27年10月4日（日）参加16名 ②「あーすぷらざ出前講座」 プラザ訪問が難しい県内の学校への出前講座。 ・4校517名参加 イ その他、館内実施事業等 ①あーすぷらざわくわく探検ツアー 隔週で月2回土日にプラザの案内を実施。国際理解や多文化理解につなげる。（1,755名参加） ②キャンドルナイトinあーすぷらざ キャンドルを見つめながら、平和などを思う静かな時間を過ごすイベントを実施。 ・平成27年11月15日（日）251名参加 ③仮装deハロウィンドキドキスタンプラリー2015 10月下旬のハロウィーンに合わせて、仮装パレードなどを実施。地域と外国籍県民との交流の機会にもなった。 ・平成27年10月31日（土）616名参加</p>	
<p>J インターンシップ／教員研修事業 プラザ事業に対する理解を深めてもらうため、高校生・大学生のインターンを受け入れ、職場体験の機会を提供する。</p>	<p>J インターンシップ／教員研修事業 ①インターンシップ 県立平塚商業高等学校外11校 計27名 ②教員研修（教員5年次研修） 県立高津養護学校外19校 計20名</p>	
<p>(2) 情報・相談センター事業 A ライブラリー事業 映像ライブラリーは、大人が異文化を学ぶための図書・映像を揃えると共に、子どもが絵本や雑誌及び映像に親しむためのスペースとし、機能的なライブラリー運営を行う。</p>	<p>(2) 情報・相談センター事業 A ライブラリー事業 ・利用者数 45,793名 ・図書の収集・貸出 蔵書数 38,550冊 貸出登録者数 16,659名 館外貸出数 10,218点 ・ビデオ・DVDの収集・視聴サービスの提供 ・所蔵数 2,376点 ・視聴本数 6,548本 ・視聴利用者数 9,271名 ・こどもコーナー 子ども向けに多言語読み聞かせや図書館司書体験など 計15回 908名参加</p>	
<p>B 外国籍県民支援事業 これまでの事業運営を基本に、他の支援団体、民間団体との連携を十分に図り事業運営を行う。また、外国籍県民の支援につながるような自主事業、共催事業を企画し実施する。</p>	<p>・外国籍県民支援のための情報収集整理 ・外国籍県民相談事業（一般・法律） 【相談窓口事業（3箇所、7言語）】 相談件数：一般1,074件（3箇所）、法律90件（2箇所） 相談機関連絡会2回開催 ・外国籍県民相談（教育） 【相談窓口事業（1箇所、5言語）】 相談件数1,385件（1箇所） 関係機関連絡会2回等</p>	
<p>C 広報・情報発信事業 プラザ施設案内、各種事業や地球市民学習に役立つ情報を掲載した広報物の発行、月2回程度のメルマガ、催し物の案内やチラシなどを作成し、適切な場所へ配布。ホームページ運営。</p>	<p>・ホームページアクセス数年間290,539件 ・新聞、タウン誌等広報掲載221回 ・プラザ壁新聞（機関紙）年3回発行（A2判 3,500部/回） ・催事案内チラシ（月1回A4 4,500～5,500部、館内用ポスター） ・メルマガジン 月1～2回</p>	

D その他 提案事業 県民が多文化共生社会に対する認識を深めることができるよう多文化共生をテーマにしたシンポジウム、フォーラムの開催。	○多文化共生をテーマにしたシンポジウム、フォーラムの開催 ・日本語スピーチフォーラム 平成27年11月22日(日) 94名参加 ・多文化共生教育(異文化理解教育)の出前講座 藤沢小学校教育研究会外3回(189名参加)	
(3)サポート・ネットワーク事業 A NPO等活動支援事業	・NPO等企画支援(企画、共催等事業サポート) 23回(参加4,935名) ・市民交流・活動支援 情報フォーラムスペース登録27団体(7,676名利用)	
B NPO等のための事務室運営事業 ・利用団体の活動状況の把握 ・利用団体の活動支援 ・新たな公募および選考	非営利で公益的な活動、とりわけ国際協力、国際交流、多文化共生を育むことを主な目的とした活動をする団体に、活動の場(共同の事務所スペース)を提供。 ・入居6団体 (事務室利用日数260日、利用909名) ・新規募集 ・入居希望者の選考委員会の開催	

[参考：自主事業]

事業計画の提案内容	実施状況等

5. 利用状況

評価	《評価の目安》 目標値を設定し目標達成率で、S：110%以上 A：100%以上～110%未満 B：85%以上～100%未満 C：85%未満 目標値を設定していない場合は対前年度比。 社会福祉入所施設と県営住宅については評価を行わないこともできますが、「目標値」欄には代わりに定員数等を記載してください。
A	

	前々年度	前年度	平成27年度
利用者数※	386,731	381,104	403,392
対前年度比		98.5%	105.8%
目標値	304,000	306,000	385,000
目標達成率	127.2%	124.5%	104.8%

目標値の設定根拠： かながわグランドデザイン

利用者数の算出方法(対象)： 常設展示室観覧券発券枚数、貸出施設利用申込人数(貸出施設のうち映像ホール等を事業で利用する場合は入場者数)、図書・映像資料貸出等処理件数、フォーラム等定点観測(4回/日)、NPO等のための事務室(利用簿の利用者数)。

[参考：最大利用可能人数/年]

	プラザホール(最大)	映像ホール	会議室	多目的室	創作スタジオ	合計
定員	358	125	78	55	40	
年間利用可能日数	360	355	360	360	360	
最大人数※1	128,880	44,375	28,080	19,800	14,400	235,535
稼働率※2	57.50%	57.60%	94.20%	89.40%	98.10%	

※1 原則は人数だが、施設の状況等により変更可能。単位を変更した場合はその理由

※2 利用のあった日/年間利用稼働日数 を記載

6. 利用者の満足度

評価	≪評価の目安≫ 「満足」（上位二段階の評価）と答えた割合が、S：90%以上 A：70%以上～90%未満 B：50%以上～70%未満 C：50%未満 ※評価は施設としての総合的評価の「満足」回答割合で行う
S	

満足度調査の実施内容	協定に定めた調査内容	実施結果と分析
	第3四半期に実施。来館者や事業参加者にアンケート用紙を配布。	概ね高い評価を得ている。指定管理者が子どもから大人まで幅広い年齢層を対象とする事業実施に配慮したことや適切な施設の管理運営に努めたことが評価されたものと思われる。

[施設としての総合的評価]

質問内容 あーすぷらぎ全体の印象

実施した調査の配布方法 受付配布、事業参加者・利用者 回収数/配布数 482 / = #DIV/0!
直接配布

配布(サンプル)対象 事業参加者、施設利用者

	満足	どちらか といえば 満足	普通	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があつた 場合はその理由
施設としての総合的 評価の回答数	235	201	20	1	1	458	[満足] 気軽に異文化体験が出来て楽しい(常設展示室)。[不満] 照明が暗い(常設展示室)。
回答率	51.3%	43.9%	4.4%	0.2%	0.2%		
前年度の 回答数	156	176	28	1	0	361	
前年度回答率	43.2%	48.8%	7.8%	0.3%			
回答率の 対前年度比	118.7%	90.0%	56.3%	78.8%			

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[参考：職員の対応状況]

質問内容 接客対応

実施した調査の配布方法 受付配布、事業参加者・利用者 回収数/配布数 482 / = #DIV/0!
直接配布

配布(サンプル)対象 事業参加者、施設利用者

	満足	どちらか といえば 満足	普通	どちらか といえば 不満	不満	合計	満足、不満に回答があつた 場合はその理由
職員の対応状況の 回答数	302	115	64	1	0	482	とても感じがよく分かりやすい、子どもにも優しくくて安心。いつも明るい笑顔で対応。
回答率	62.7%	23.9%	13.3%	0.2%			
前年度の 回答数	286	129	61	1	0	477	
前年度回答率	60.0%	27.0%	12.8%	0.2%			
回答率の 対前年度比	104.5%	88.2%	103.8%	99.0%			

(複数回実施した場合は、平均値を記載。)

[参考：その他]

--

7. 収支状況

評価	《評価の目安》 収支差額の当初予算額：0円の施設が該当 収入合計/支出合計の比率が S(優良)：105%以上 A(良好)：100%～105%未満 B(概ね計画ど おりの収支状況である)：85%～100%未満 C(収支比率に15%を超えるマイナスが生じている)： 85%未満
A	

[指定管理業務]

(単位:千円)

		収入の状況				支出の状況	収支の状況		
		指定管理料	利用料金	その他収入	その他収入の内訳	収入合計	支出	収支差額	収支比率
前々年度	当初予算	261,132	20,280	996	展示企画参加費240 バナー広告等収入756	282,408	282,408	0	100.00%
	決算	261,132	28,897	73	物品販売50 工作材料費等23	290,102	280,900	9,202	103.28%
前年度	当初予算	268,595	20,857	1,024	物品販売268 バナー広告等収入756	290,476	290,476	0	100.00%
	決算	268,595	29,720	418	物品販売等418	298,733	290,343	8,390	102.89%
27年度	当初予算	268,595	20,857	1,024	物品販売268 バナー広告等収入756	290,476	290,476	0	100.00%
	決算	268,595	30,931	522	物品販売等522	300,048	286,381	13,667	104.77%

※支出に納付金が含まれる場合、その内数 (単位:千円)
27年度 / 前年度 / 前々年度 /

<備考>
(平成27年度の当初予算と決算額の支出について)
広報・情報発信費△1,280千円(職員対応による減)、光熱水費△4,130千円(省エネ、雨水利用による減)、その他(通信費・消耗品費等)△2,491千円(経費節減による減)、賃借料△1,090千円

[参考：県が支出した修繕工事費]

※県が支出する計画修繕工事・各所管修繕工事等に係る修繕費

時期(年・月)	金額(千円)	工事箇所・内容(金額(千円))

(基本協定において県が負担することとしている修繕費等： _____ 千円以上)

[参考：資本的な収入及び支出等の状況]

	金額(千円)	内容(金額(千円))
収入		
支出		
積立		

8. 苦情・要望等

分野	報告件数		概要	対応状況
施設・設備	簡易アンケート	10 件	1階ラウンジ利用者でゴミの始末をきちんとしない者への注意などを求める要望や冷房が寒いという温度管理への苦情。	ゴミ持ち帰り注意喚起の掲示を増やし、館内巡視時にも注意することとした。冷房の温度設定について、利用者からの求めに柔軟に対応することとした。
		件		
職員対応		件		
		件		
事業内容	簡易アンケート	7 件	閲覧用の映像資料や図書類の充実や新規雑誌の購入・配架を求める要望、プラザホールの利用申込を窓口先着順(早朝から並ぶ)としていることを見直すことを求める要望。	映像資料、図書、雑誌の選定については利用者の意見も参考にしながら行うこととした。プラザホールについては、平成28年3月1日からe-kanagawa施設予約システムから予約できることとした(周知期間を設け、平成28年10月1日から実施。)
		件		
その他	簡易アンケート	1 件	土日の施設利用時間終了後に外国籍につながる貧困層の子どもの学習支援に使用する目的でスペースを無料で提供してもらいたい。	開館時間内であれば、情報フォーラム利用団体として登録すればフォーラム内スペースを無料で利用可能であること、また無料のラウンジの利用も可能であることを案内して理解を求めた。
		件		

※指定管理者に起因するものを記載。その他、苦情・要望への対応を行ったものを記載。

9. 事故・不祥事等

発生日	事故等の概要	原因・問題点	①指定管理者の対応状況(再発防止策・業務改善策等) ②県の対応状況(随時モニタリング・改善勧告の実施等) ③責任の所在及び現在の状況
9月15日	貸出施設(研修室B)で行われていたカービング(石鹸の彫刻)講座受講者利用者が意識不明になり、指定管理者が手配した救急車により近隣の病院へ搬送された。	本人の病気によるもの。	①通報を受けて、救急車を手配し、適切に対応した。 ②指定管理者から報告を受け、状況を把握。指定管理者の対応に問題はないと思われたため、指導等特別な対応なし。 ③本人の病気によるもの。指定管理者に責任なし。
10月12日	2階映像ライブラリー前通路にて、利用者が孫と接触して転倒し、顔を8針縫う怪我をした。指定管理者が止血等応急処置を行うとともに救急車を手配し、男性は近隣の病院に搬送された。	転倒しそうになった孫をかばった際に、転倒し、顔を打ち、メガネで顔を切ったもの。	①通報を受けて、救急車を手配し、また応急処置を行い適切に対応した。 ②指定管理者から報告を受け、状況を把握。指定管理者の対応に問題はないと思われたため、指導等特別な対応なし。 ③レントゲン検査の結果異常なし。指定管理者から保険の案内を行った。指定管理者に責任なし。
11月15日	利用者が1階出入口付近のスロープと駐車場との段差につまづき転倒し、左肩を脱臼した。指定管理者が手配した救急車により病院に搬送された。	スロープ途中から駐車場に降りようとして、段差に気が付かずに転倒したもの。	①一緒にいた夫が指定管理者に通報。指定管理者は救急車を手配し、適切に対応した。 ②指定管理者から報告を受け、状況を把握。指定管理者の対応に問題はないと思われたため、指導等特別な対応なし。 ③テーピング、低周波治療実施。手術の必要なし。指定管理者から保険の案内を行った。本人の不注意によるもので、指定管理者に責任なし。
12月25日	子ども連れで来館していた利用者が5階のコインロッカーを閉めようとした際、自分の子どもがぶつかってきて、コインロッカーの扉に左手小指をはさみ骨折した。	連れていた自分の子どもとの接触によるもの。	①本人が指定管理者に通報。指定管理者は近隣の整形外科を案内し、適切に対応した。 ②指定管理者から報告を受け、状況を把握。指定管理者の対応に問題はないと思われたため、指導等特別な対応なし。 ③診察の結果、小指骨折。指定管理者から保険の案内を行った。本人の不注意によるもので、指定管理者に責任なし。
2月28日	5階映像ホールを卒団式で利用していた少年サッカーの団体の保護者と一緒に来館していた児童が施設内を走り回り、転んで室内の消火器に頭を打ち、1センチほどの切り傷を負った。	通常は、館内を走り回っている子どもを見つけると職員が注意しているが、貸出施設利用者側の不注意で事故が起きたもの。	①団体が指定管理者に通報。指定管理者は子どもの傷口の消毒や絆創膏を貼る処置を行った。 ②指定管理者から報告を受け、状況を把握。指定管理者の対応に問題はないと思われたため、指導等特別な対応なし。 ③翌日、指定管理者から連絡し、怪我をした子どもは元気であることを確認した。また、保険の案内を行った。指定管理者に責任なし。

※随時モニタリングを実施した場合は必ずその内容を記載。

※過去に発生したものでも、新たな対応等を実施した場合には、その内容を記載。

※なお、大きな事故・不祥事に関して改善勧告を行わなかった場合は、その理由を併せて記載。

10. 労働環境の確保に係る取組状況

確認項目	指摘事項の有無	備考
法令に基づく手続き	無	
職員の配置体制	無	
労働時間	無	
職場環境	無	

※指摘事項は、県による監査（包括外部監査含む）又は労働基準監督署によるものとし、有とした場合は備考欄に概要を記載。